

(明治三十四年第三種郵便物認可)(毎月四日十四日廿四日三回發行)

縣報

第四拾六號

明治卅四年七月十四日

和歌山縣

○縣令

○和歌山縣令第四十一號

當廳事務中和歌山縣和歌山市ニ屬スル左ノ條件ハ同市長ニ委任ス

明治三十四年七月三日

和歌山縣知事

椿

葵一郎

一賣藥請賣及行商願ノ事

二按摩按腹營業願ノ事

縣報第四十六號

明治三十四年七月十四日

第三種郵便物認可

二

○訓令

○和歌山縣訓令甲第三十九號

中一役所監獄署
一役署
察分署
市警察所

明治三十四年二月和歌山縣訓令甲第十一號內務省所管物品取扱細則第十六條中「市長」トアルヲ「市ノ徵兵官」ト改メ書式第十號ヲ左ノ通改正ス

明治三十四年七月三日

和歌山縣知事 植秦一郎

(書式第十號) 備考 何々トアルハ明治三十三年十月内務省訓令第三十號内務省及所管廳

物品取扱規程様式凡例第四項ニ依リ拾得物、埋藏物、徵收物、沒收品、犯罪者置去品、犯罪證據品、留置人携帶品等ノ區分トス其ノ區分ニ依リ各別調製スヘシ數字ハ一二三ヲ用ヒサルモノトス

明治何年度明治何年何月何中何ク受拂計算書

摘要	要品目	數量	代價	數量	代價	拂受
何月何日ヨリ	越高衣類品	八貳	〇八〇〇	八〇〇〇	〇八〇〇	八〇〇〇
月	年	年	年	年	年	年
中	何	何	何	何	何	何
何	何	何	何	何	何	何

右之通二候也

年
月
日

何醫察署

分任物品會計官吏宛

何鑒察分署

物品取扱主任官員名冊

○和歌山縣訓令甲第四十號

郡 警 察 役 所
市 審 分 署

町 村 役 所
村 役 場

從來類似虎列刺發生ノ場合ニ於テ報告例等ノ訓達ニ依リ報告シ來リシ向モ之アリシ處該症
ハ急性胃腸炎所謂霍亂ト同病異名ニ付爾今報告ニ及ハス

明治三十四年七月三日

和歌山縣知事 植 茂一郎

縣報第四十六號

明治三十四年七月十四日

第三種郵便物認可

六

○和歌山縣訓令甲第四十一號

郡役所
警察署
市役場
町役場
村役場

水災後ニ於ケル衛生上尤モ注意ヲ要スヘキコトハ屢訓達セシ處ナルカ過日來霖雨ノ爲メ
縣下各地ノ河川澎溝氾濫シ又ハ雨水ノ灌漬シテ浸水ノ害ヲ被リシ家屋不尠此被害タル單ニ
浸水ノ慘狀ニ止マラス從來ノ實蹟ニ微スレハ之レニ次テ必ス來ラントスルハ最モ恐ルヘキ
傳染病ノ流行之ナリ特ニ刻下縣下各地ニ赤痢病點發シ近府縣ニ於テモ該病流行ノ兆アリ縣
下ノベスト病ハ一時幸ニ終熄セリト雖帝國大學ニ有菌鼠ナ發見シ及山梨縣ニ該病患者發生
セリ其他内地ト交通頻繁ナル臺灣各地ニ該病流行ノ兆アル折納ナレハ此際水災ノ餘ヲ承ケ
タル土地ニ在テハ之カ豫防ハ最モ緊要ニシテ苟モ層豫ス可カラサルナリ依テ左記水災後ノ
注意事項ニ準據シ傳染病ヲ發生シ又ハ其媒介トナルヘキ害因ヲ除却シ以テ各人ノ健康ヲ保
護スルコトニ力ム可シ

明治三十四年七月五日

和歌山縣知事 植 蒸 一 郎

水災後衛生上注意事項

一家屋近傍ノ地面又ハ排水溝渠等ノ殘溜水ハ速ニ疏通セシメ其沈澱シタル汚泥塵芥ハ一定

ノ場所へ除去シ塵芥ハ可成燒却スヘシ

一飲料井水ハ其近傍ノ不潔箇所ヲ掃除シタル後浚渫シ井戸流其他破損シアレハ直ナニ修理ス可シ

一飲料井水ハ仮令良水ニシテ浚渫後ト雖全ク清淨シ臭氣ナク又異味ナキニ至リテ飲用ス可シ尤モ當分ノ内ハ必ス煮沸シタルモノチ用ヒ決シテ生水ヲ飲ム可カラス

一屋内ノ壁若ハ柱其他水ニ浸サレタル部分ハ二十倍ノ石炭酸水又ハ十倍ノ石灰乳ヲ布片ニ浸シ充分拭拂シ浸水セサル部分ト雖煮沸セシ湯水ヲ以テ洗滌シ特ニ居室庖厨場及日用諸道具ハ丁寧ニ洗滌ス可シ

一漫水家屋ノ床板ハ之レヲ剥カシテ洗掃シ塵芥汚泥ハ之ヲ攝取リ一定ノ場所ニ除去シタル上成ルヘク生石灰末ヲ散布ス可シ

但塵芥ハ可成燒却スルヲ要ス

一家屋ノ洗拭掃除了ラハ窓戸並ニ戸障子ハ悉ク開放シ專ラ日光大氣ヲ流通セシメ又ハ火刀ニ依リテ乾燥セシメ特ニ床下等ハ尤モ注意シテ乾燥ヲ充分ナラシム可シ

一浸水シタル家屋ハ全ク乾燥スルニアラサレバ可成起臥ス可カラス若シ止ヲ得ス歸住シタルトキハ時々火ヲ焚キ室内温氣ヲ去ラシメ又ハ窓戸ヲ開キ火氣ヲ流通セシム可シ

一温潤シタル衣服臥具ハ能ク乾シ全ク温氣ヲ去リタル後ニアラサレハ着用ス可カラス且飲食物ハ必ス煮沸シテ用ヒ暴飲暴食ス可カラス

一簾等戸棚其他屋内ノ道具ハ壁間ヨリ凡ソ一尺ヲ離シ置キ注意シテ遺存セル温氣ヲ散發セシム可シ

○和歌山縣訓令甲第四十二號

郡市役所
町村役場

土木工事ニ要スル土地寄附出願取扱規程左之通改定ス

但明治二十八年三月訓令第八十三號并同二十九年六月訓令第二百五十三號ハ爾今廢止ス

明治三十四年七月十日

和歌山縣知事

樺 葦一郎

土地寄附出願取扱規程

第一條 凡テ土木工事ニ要スル土地ヲ寄附セムトスル者アルトキハ此規程ニ依リ取扱フヘシ

第二條 寄附願書ハ未登記ノ地所ニアツテハ第壹號既登記ノ地所ニアツテハ第貳號様式ニ依リ各貳通ヲ調製提出セシメ尙既登記ノモノニ限り其登記済証及第參號様式ニ依ル登記嘱託ノ承諾書ヲモ添付セシムルモノトス

第三條 既登記ノ地所ノ内其一部ヲ寄附セムトスルトキハ分筆登記ヲ又土地カ登記上第三

者ニ對シ義務ヲ負フ場合ハ之カ解除ノ手續ヲナサシタル後出願セシムルモノトス

第四條 願書及承諾書ニ記載スル數字又ハ文字ノ改竄等ニ關シテハ不動產登記法第七十七條ノ規程ニ準據スヘキモノトス

第五條 郡市長ハ其工事ノ起業者ヲシテ第四號難形ニ倣ヒ工事ニ要スル敷地全部ノ圖面貳通ヲ調製提出セシムルヲ要ス

但縣ノ起業ニ係ルモノハ此限ニアラス

第六條 郡市長ニ於テ寄附願書ヲ受理シタルトキハ其土地所属ノ地名、地番、反別ノ適否登記上ノ關係其有無及書類ノ整否等ヲ調査シ其一工事ニ要スル寄附願書ヲ取纏メ前條起業者ノ提出ニ係ル圖面ヲ添ヘ遲滞ナク本廳ニ進達スヘシ
第七條 民有ニ属スル用惡水路、溜池堤塘井溝其他公衆ノ用ニ供スル道路等ニシテ免租地トナサムトスルトキハ工事着手ノ都度第五號様式ニ依リ其旨届出シメ尙同時ニ所轄稅務署ヘ免租願ヲ差出サシムヘシ
(第壹號様式)

土地寄附

何郡
市何町大字何字何々番

田親反別何程畦畔何程ノ内

一寄附反別何程
二畠畔何程

此價格何程

何郡
市何町大字何字何々番

一畠反別何程

此價格何程

右何河川堤塘又ハ溜池、用惡水路敷地トシテ寄附仕度此段相願候也

明治年月日

何郡
市何町大字何々番地

知事宛

持主 何之誰印

備考 一筆ノ地所ノ内一部寄附ノモノニシテ稅務署へ分筆届未済ノモノハ必ス親反別
ヲ記載スヘシ

用紙ハ可成半紙又ハ半紙野ヲ用ユヘシ以下皆同シ

(第貳號様式)

土地寄附願

何郡何町大字何字何番
何市何村大字何字何番

一田反別何程
外畔畔何程

此價格何程

何郡何町大字何字何番第貳
何市何村大字何字何番第貳

一畠反別何程

此價格何程

右縣道何街道又ハ里道何往來何河川堤塘敷トシテ寄附仕度別紙登記済証及承諾書相添此段
相願候也

何郡何町大字何字何番
何市何村大字何字何番地

持主 何之誰印

明治 年 月 日
知事宛

(第參號様式)

承諾書

何郡町大字何字何何番

一田反別何程

一畠反別何程

右道路敷又ハ堤塘敷トシテ寄附仕候ニ付テハ所有權取得ノ登記嘱托之儀承諾致候也

何郡町大字何何番

明治年月日

何年之誰印

知事宛

何街道改修所要敷地見取圖 (二)
何村大字何字何ノ分



備考

堤塘、溜池、用惡水路、等ノ分モ此例ニ依ルヘシ
圖面ハ一小字毎ノ切圖トシ順番ヲ附スヘシ

縣報第四十六號 明治二十四年七月十四日

第三種郵便物認可

十三

驛報第四十六號 明治三十四年七月十四日

第三種郵便物認可

十四

(第五號様式)

工事着手届

何郡何町大字何字何番

一畠何程

但溜池又ハ用惡水路、堤塘、井溝、公衆ノ用ニ供スル道路新設

工事許可年月日

全着手年月日

右及御届候也

何郡何町大字何字何番地

何

之

誰

印

明治 年 月 日

知事宛

○告示

○和歌山縣告示第百四十一號

兵庫縣城崎郡中竹野村ニ於テ六月十一日牛一頭炭疽ニ罹リ斃死セシ旨全縣ヨリ通知アリタ

明治三十四年七月三日

和歌山縣知事 椿 薫一郎

○和歌山縣告示第百四十二號

兵庫縣三原郡神代村ニ於テ六月十五日牛一頭炭疽ニ罹リ全日斃死美方郡八田村ニ於テ同月二十日牛一頭氣腫疽ニ罹リ同二十一日斃死セシ旨全縣ヨリ通知アリタリ

明治三十四年七月三日

和歌山縣知事 椿 薫一郎

○和歌山縣告示第百四十三號

左記ノ者死亡ニ依リ本日和歌山縣產婆名簿ノ登録ヲ取消ス

明治三十四年七月五日

和歌山縣知事 椿 薫一郎

海草郡東山東村大字木枕三百二十五番地和歌山縣平民

吉 田 ツ ル

○和歌山縣告示第百四十四號

左記ノ者本日頸書ノ番號ヲ以テ和歌山縣產婆名簿ニ登録ス

明治三十四年七月六日

和歌山縣知事 椿 薫一郎

第四一四號

井 谷 フ ジ

第四一五號

日高郡矢田村大字土生五百九十六番地和歌山縣平民
日高郡矢田村大字小熊三千四百二十八番地和歌山縣平民
明治四年九月生

第四一六號

八 田 ア サ ノ

第四一七號

松 本 コ ウ
明治七年十一月生

海草郡安原村大字吉原千二百八十八番地和歌山縣平民
海草郡安原村大字吉原千二百八十八番地和歌山縣平民

林 ふ や 玄

慶應元年九月生

第四一八號

木 田 う の

東牟婁郡新宮町七千七百六十二番地寄留三重縣士族

明治十二年四月生

第四一九號

生 地 ひ で

伊都郡天野村大字上天野二百六十七番地和歌山縣平民
明治十年五月生

伊都郡天野村大字上天野二百六十二番地和歌山縣士族

第四二〇號

丹生

ま。さ

明治六年一月生

那賀郡安樂川村大字段新田四百四十六番地和歌山縣平民

第四二一號

坂田

さかた

明治七年一月生

那賀郡根來村大字西坂本千三百四十四番地和歌山縣平民

第四二二號

西永

に。カ

明治七年十月生

那賀郡下神野村大字野中十七番地和歌山縣平民

第四二三號

小馬場

こまば

文久二年十一月生

那賀郡根來村大字西坂本千二百三十番地和歌山縣平民

第四二四號

下津

しもつ

明治十三年五月生

那賀郡丸柄村大字丸柄千六百三十九番地和歌山縣平民

第四二五號

岩本

いわもと

明治十三年五月生

縣報第四十六號

明治三十四年七月十四日

第三種郵便物認可

十七

第四二六號

坂口小糸

第四二七號

海草郡楠見村大字大谷四百六十四番地和歌山縣平民
明治六年九月生

第四二八號

海草郡楠見村大字平井四十八番地和歌山縣平民
明治七年二月生

第四二九號

東牟婁郡新宮町六百三番地寄留和歌山縣平民
丹下喜之

第四三〇號

伊都郡九度山村大字中古澤三百十二番地和歌山縣平民
久保キク

第四三一號

伊都郡九度山村大字椎出八百七十八番地和歌山縣平民
喜多ミ江
明治十三年十二月生

第四三二一號

西牟婁郡湊村大字湊千百四十二番地和歌山縣平民
雜賀つねの

明治十四年一月生

第四三三二號

日高郡湯川村大字富安七百十八番地和歌山縣平民
平原サワエ

明治七年九月生

第四三四號

東牟婁郡新宮町十九番地和歌山縣士族

モト

第四三五號

東牟婁郡高池町大字池野山百四十番地和歌山縣平民

青木いの

明治八年六月生

第四三六號

東牟婁郡新宮町七千六百九十八番地寄留三重縣平民

大越智まさ

明治十二年十一月生

第四三七號

東牟婁郡新宮町七千八百七十五番地和歌山縣平民

榎本イシ

明治七年一月生

縣報第四十六號

明治三十四年七月十四日

第三種郵便物認可

二十一

日高郡稻原村大字明神川三百九番地和歌山縣平民

第四三八號

松尾タケ

日高郡高城村大字高野千三百三十三番地和歌山縣平民

明治十四年二月生

第四三九號

小家ヨシ

那賀郡岩出村大字清水百四十八番地和歌山縣平民

明治十四年一月生

第四四〇號

宮城熊千代

那賀郡池田村大字南勢田五百四十三番地和歌山縣平民

明治七年十二月生

第四四一號

長尾京

那賀郡田中村大字西大井二百八十三番地和歌山縣平民

明治十年二月生

第四四二號

藤原玄かの

明治十四年四月生

第四四三號

那賀郡小倉村大字吐前四百八十二番地和歌山縣平民

明治十四年二月生

那賀郡粉河町大字粉河千八百六十八番地和歌山縣平民

第四四四號

藤井ハルエ

明治十四年四月生

第四四五號

伊藤米代

海草郡宮前村大字中島三百三十三番地和歌山縣平民

第四五六號

中村玄

明治十四年五月生

海草郡川永村大字神波二百五十三番地和歌山縣平民
海草郡和歌浦町千百二十六番地和歌山縣平民

第四四七號

林田

明治十三年六月生

第四四八號

奥田民

明治十年七月生

第四四九號

木村タツ

明治十一年七月生

東牟婁郡三津ノ村大字能城山本百五十六番地寄留和歌山縣平民

縣報第四十六號

明治三十四年七月十四日

第三種郵便物認可

二十一

東牟婁郡新宮町四百八十五番地和歌山縣士族

第四五〇號

字 井 之 な

海草郡紀三井寺村大字紀三井寺千七十九番地和歌山縣平民

第四五一號

慶應二年二月生 唐津摩走みへ

海草郡黒江町大字黒江五百一十三番地和歌山縣平民

第四五二號

堀詰むめの 萬延元年二月生

日高郡東内原村大字原谷二百四十二番地和歌山縣平民

第四五三號

貴虎コマツ 明治十三年五月生

那賀郡岩出村大字宮百四十八番地和歌山縣平民

第四五四號

井上マサノ 明治十三年十二月生

那賀郡小倉村大字上三毛百六十六番地和歌山縣平民

第四五五號

岩西カツエ 明治十四年四月生

第四五六號

東牟婁郡新宮町百五十七番地寄留愛知縣平民
中野かん

第四五七號

那賀郡田中村大字打田四百九十二番地和歌山縣平民
明治十二年十二月生

第四五八號

那賀郡田中村大字打田百七十九番地和歌山縣平民
千田富兵

明治十三年九月生

岩田ゆき

○和歌山縣告示第一百四十五號

明治十四年三月生

本縣薦種検査員星田伊三郎左記雛形ノ職印本月三日有田郡石垣村大字歡喜寺溝中ニ落失終
ニ所在不明ノ旨届出候ニ付該印ハ同日以後無効トス
但該印見當リ候者有之候ハ、其町村役場又ハ最寄警察官ニ届出ヘシ

明治三十四年七月六日

和歌山縣知事

椿菜一郎

和歌山縣

薦種検査員六字体楷書

星田伊三郎印

縣報第四十六號

明治三十四年七月十四日

第三種郵便物認可

二十四終

(明治三十二年第三種郵便物認可)

(毎月四日十四日廿四日三回發行)

相模山市九番丁九番地